



## ファミリーサポートセンター 会員募集

市では「ファミリーサポートセンター事業」を実施しています。センターの子育て援助活動を利用したい人、または援助活動を行いたい人は、会員への登録をお願いします。

### ファミリーサポートセンターとは？

『子育てを応援したい人』と『子育てを応援してほしい人』が会員になり、助けたり、助けられたりして、子育ての援助活動を行うネットワークです。仕事・家事と育児の両立を支援し、地域社会全体で、安心してゆとりのある子育てができる環境づくりを目指します。

### お願いしたい人 子育てを手伝う人

#### 【おねがい会員】

市在住で援助を必要とする小学生以下の子どもがいる人。

#### 【まかせて会員】

市在住の20歳以上で育児の援助を提供できる人。資格・経験・性別は問いません。規定の講習を受けていただければ、会員として登録できます。

### まかせて会員になるための講習会

まかせて会員が援助活動を行うためには、講習会の受講が必要です。

とき／6月10日(火) 9:30～12:00

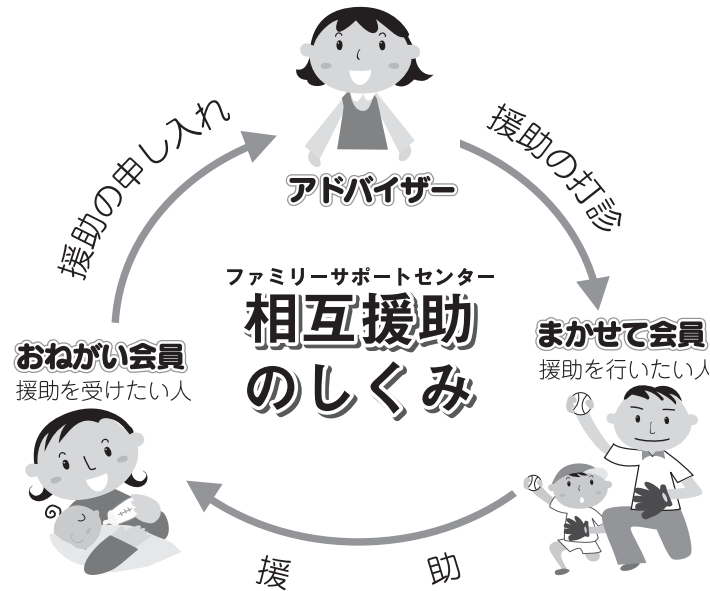
6月11日(水) 9:30～12:00

※2日間の受講が必要

ところ／大仁市民会館 第3集会室

講師／救急救命士・保育士・保健師・栄養士・図書館司書

申込み方法／6月3日(火)までに右記までご連絡ください。



### 利用料金は？

活動日	活動時間	利用料金
平日	7:00～19:00	600円/時間
	上記以外	700円/時間
土・日・祝日	終日	700円/時間

※育児に必要なものは、援助を受けたい会員が用意。食事代やおやつ代、おむつ代などは、援助を受けたい会員が実費負担。



問合せ・申込み  
ファミリーサポートセンター  
(地域子育て支援センターたんぽぽ内)  
受付時間／月～金曜日 9:00～16:00  
〒410-2323 三福 295-1  
☎ 0558-76-6006



## 農作業事故をなくそう！

市役所農業商工課

☎ 055-949-6813

4月1日から5月31日までの2カ月間、県内全域で、春の農作業安全運動を行っています。農作業事故は、単純なミスが起こらないように十分注意することで防ぐことができます。適度な休息を取り、基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つひとつ取り除きましょう。

### ◆事故の約7割が機械作業時

全国の農作業死亡事故件数(平成23年) **366件**

※県内の死亡事故：7件(うち4件は機械作業に係る事故)

#### 99件 27%

主な事故例

- ◆稲ワラ焼却中などの火傷…30件
- ◆ほ場・道路からの転落…27件

#### 20件 5%

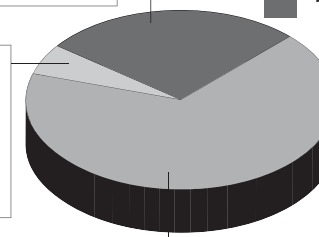
主な事故例

- ◆作業舎の屋根など、高所からの「墜落・転落」…11件

#### 247件 68%

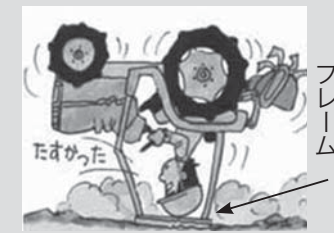
主な事故例

- ◆乗用型トラクターによる事故…123件  
[機械の転落・転倒 94件 / 回転部などへの巻き込まれ 12件]
- ◆歩行型トラクターによる事故…40件  
[挟まれ 16件 / 回転部などへの巻き込まれ 10件]



安全キャブ・フレーム

安全キャブ・フレームのあるトラクターでも、シートベルトをしなければ、転倒した際に身を守ることはできません。

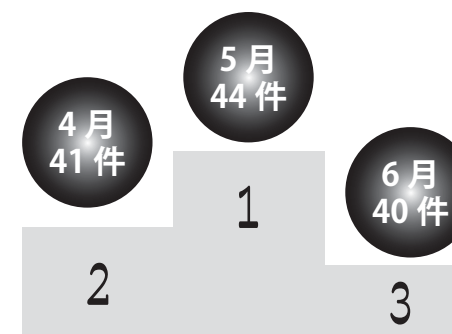


安全キャブ・フレーム

トラクター転倒時、安全キャブ・フレームが、トラクターとの間に空間を作り、人が挟まれるのを防ぎます。

### ◆年間で5月が一番事故が多い

全国の月別の事故発生状況(平成23年)



### ◆事故防止のためのチェックポイント

- ✓ 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- ✓ シートベルトを着用しよう。
- ✓ 適正な機械使用を心がけましょう。
- ✓ 作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう。

